

2023年7月18日

株式会社 TMJ

「TMJ サステナビリティ宣言」を公開

自社サステナビリティ活動の促進に向け、
社内コンテストを通じた全員参加の推進と新規ビジネス創出も併せて実施

コンタクトセンター・バックオフィス（事務処理センター）の構築・運営を行うセコムグループの株式会社 TMJ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：丸山 英毅、以下 TMJ）は、持続可能な社会の実現に向け、自社方針をまとめた「TMJ サステナビリティ宣言」を 2023 年 4 月 3 日に策定し、この度自社 Web ページへ公開いたしましたのでお知らせします。

[\(https://www.tmj.jp/company/sdg/\)](https://www.tmj.jp/company/sdg/)

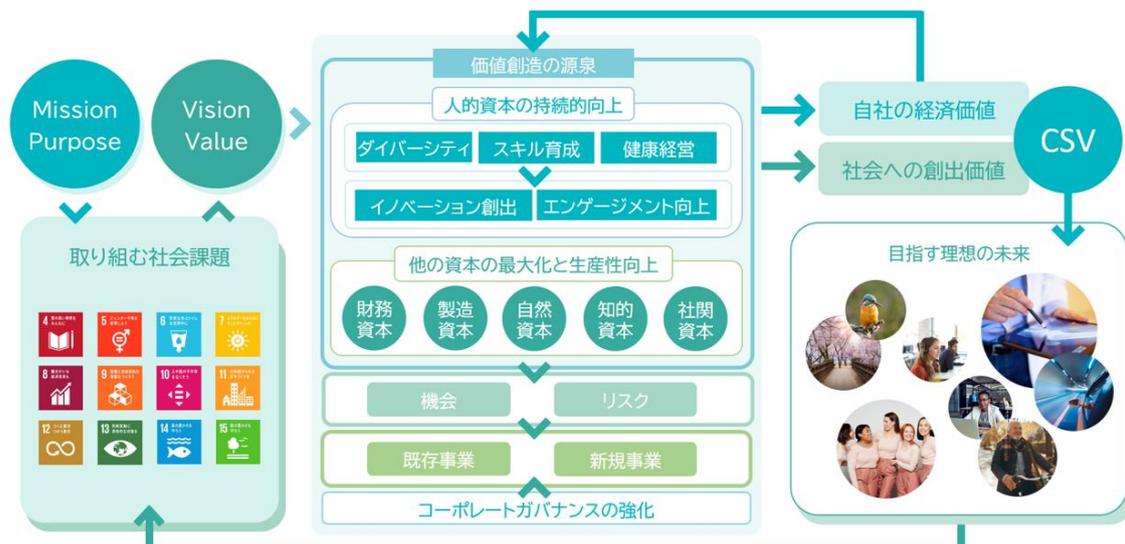
■ 「TMJ サステナビリティ宣言」の概要

TMJ は経営理念ミッションで「たゆまぬ対話と改善で誰もが暮らしやすい社会を創る」を掲げています。この「誰もが暮らしやすい社会」の実現に向け、事業を通じて社会へより積極的に関与し、さまざまなステークホルダーと共に、持続可能な社会を目指す姿勢を「TMJ サステナビリティ宣言」として示しました。

TMJ サステナビリティ宣言は以下よりご覧ください。

<https://www.tmj.jp/company/sdg/>

TMJ におけるサステナビリティの考え方





宣言では「誰もが暮らしやすい社会」の実現に向け取り組む優先課題を、マテリアリティとして決めました。事業展開と企業経営を通じて「DEI (Diversity Equity Inclusion)」、「企業生産性の向上」、「継続的な能力開発」、「気候変動の抑制と環境保護」、「住み続けられる街づくり」、「人的資本の継続的向上」、「コーポレートガバナンスの強化」の7つを課題テーマとして、取り組みを推進します。



マテリアリティ	実現の手段と目指す姿	関連するSDGs
多様な雇用やサービスの創出によるDEIの推進 (Diversity Equity Inclusion)	個々人の価値観やライフスタイルに寄り添った多様な雇用やサービスを創出することで、誰もが公平に自分らしい暮らし方や働き方を選択できるように支援します。	4, 5, 10
共通インフラ提供による企業の生産性向上	企業活動を支えるインフラの提供とビジネスプロセスにおけるイノベーションの創出を通じ、企業の生産性向上を実現します。	8, 9
継続的に学習意欲を喚起する能力開発の実現	継続的な学びの機会を提供する環境やサービスを創出し、能力開発を通じて個人が自己の成長や働く楽しみを実感することで、誰もがいきいきとやりがいのある仕事ができる社会の実現に貢献します。	4, 8
気候危機の抑制と環境保護	サプライチェーン全体で脱炭素化を目指すためにサーキュラーエコノミーおよび再生エネルギーの活用などを推進し、気候危機を抑制するとともに、環境や生物の多様性を保護します。	6, 7, 12, 13, 14, 15
地域企業の活性化による住み続けられる街づくり	地域社会との共創により、地域の特性や強みを活かしながら、地域企業の活動や働く人々を活性化させることで、住み続けられる街づくりを推進します。	8, 11



マテリアリティ	実現の手段と目指す姿	関連するSDGs
人的資本の継続的向上	あらゆる属性及び知と経験のダイバーシティを実現し、個々の強みや志向に応じたスキル育成を行うことにより、イノベーション創出文化の醸成と生産性の向上を実現します。また、健康経営を推進し、互いに尊重しあいながら安心して働くことで、従業員のエンゲージメントを高め、持続的な企業価値向上を実現します。	4, 5, 8, 9, 10, 12
コーポレートガバナンスの強化	コンプライアンスやリスク管理を重視したガバナンスを強化し、透明性の高い公正な事業慣行を実現することにより、あらゆるステークホルダーに対しての責任を果たします。また、経営の効率性を高めるとともに、健全なリスクテイクを行うことで、企業競争力を高め、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現します。	8, 16

■ 社内浸透と事業活動への組み込みを目的に全員参加型「ビジネスコンテスト」を実施

TMJでは宣言に従業員一人一人の意識と行動へ浸透させるため、サステナビリティ推進の専門組織を設置、社内取り組みを力強く推進をしていきます。その第1弾として、自社新規事業企画部門と連携し、全社員※参加型の「ビジネスコンテスト」を社内で開催します。掲げる社会課題の解決に向けた新規ビジネスアイデアを募り、1,000件を超える応募案から選考されたアイデアを新規事業化と既存ビジネスへの反映を行う予定です。全員参加のコンテスト実施による当事者意識の醸成と、自社事業活動への組み込みによりサステナビリティ実現への具体的なアクションを加速させます。

※全社員：職種・地域限定正社員を含む正社員が対象



株式会社 TMJ CVO(Chief Value Officer) 土屋美奈のコメント



この度サステナビリティ宣言策定にあたり、私たち TMJ グループが目指す「誰もが暮らしやすい社会」とはどのような社会なのかを具体的に描きました。そしてそれを実現するために取り組むべき社会課題をマテリアリティとして決めました。

ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）企業として社会インフラや多くの企業を支える役割、多様な人材に活躍いただき実現するサービス、事業所の出店を通じた多くの地域との共創、更にはかけがえのない地球や故郷への感謝の気持ちに至るまで、様々なことに思いを馳せ、事業によって解決する5つの社会課題（事業マテリアリティ）と、自社の経営活動において取り組むべき2つの社会課題（経営基盤マテリアリティ）を設定いたしました。

今後これらの社会課題に取り組み、既存事業のみならず新たな事業にも挑戦し価値を創出することで、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指してまいります。

■株式会社 TMJ について（ <https://www.tmj.jp/> ）

TMJ は、株式会社福武書店（現・株式会社ベネッセコーポレーション）のインハウスコールセンターより独立分社化する形で 1992 年に設立。世界でも例のない継続型の会員制事業で培った生産管理、品質管理のノウハウを活かし、多種多様なクライアント企業のコールセンターの設計・運営から、調査・分析、人材派遣、人材育成などのサービスを提供しています。2017 年には、セコム株式会社の 100%子会社となり、より強固で安全性の高いグループネットワークを活かし、クライアントビジネスの成功をサポートします。